

あがまつ たより

基本理念

愛の心で医療・ 和の心で 励む心で
福祉に奉仕を 協力一致を 創意工夫を

基本方針

1. 患者さまの尊厳を守り、患者さま中心の医療を提供する
2. 安全安心とともに患者さまの生活の質にも配慮した環境を提供する
3. 高い知識と技術を習得し、自己実現を推進する
4. 多職種の連携を深め、できる限り患者さまの自立を支援する
5. ありまこうげんグループ全事業とともに地域に貢献する
6. 患者さま、ご家族さまからのご意見を尊重し、守秘義務を守り、人権に配慮した医療を提供する



新年のご挨拶 「2025年、新たな年を迎えました。」

社会医療法人 寿栄会 理事長 鈴木 実

新年明けましておめでとうとございます。今年も無事に新しい年を迎えることができました。平素より地域の皆さまをはじめ多くの支援者に法人事業運営へのご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。今年一年が皆さまにとって素晴らしい年となりますようお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

近年、当グループでは建物設備の環境整備を推進してまいりました。もう少し外構工事等は続きますが、概ね予定していた設備環境は整いました。これまでご尽力いただいた関係者の皆さまには改めて感謝申し上げます。

さて、2025年度に向けて当グループでは、今後の新しい精神科医療と高齢者医療の未来展望を明確化するべく、「ありまこうげんグループさらさら構想2030」の新マスタープランに基づいた「食」リハビリテーション「高齢者ケア」の新たな整備計画を実践してまいります。そして、働く環境、学ぶ環境をより良いものにし、さらに楽しむ環境を少しでも多く取り入れ、皆さまに喜んでいたいただける施設、事業活動となるよう邁進してまいります。一方で、職員の真に困っている課題に十分

に向き合えていない現状もあり、経営者としてはまだまだ改善努力が必要であると感じています。今、求められているのは、インセンティブや福利厚生の実践だけでなく、患者も職員も安心して過ごせる治療環境の整備だと認識しています。経営層と臨床現場で働くスタッフとの共有感を高め、組織内の風通しの良さを構築していきたいと決意しています。

今年のテーマは「再生と変化」です。「努力を重ね、物事を安定させていく」といった巳年に相応しい縁起の良さを象徴しています。医療介護ケアの本質が厳しく問われる時代だからこそ、私たちは、その課題に正面から向き合っていかなければなりません。

病院・老健・特養等、当グループが目指す「利用者さまと共に歩み、仲間と共に解決し、地域と共に生きる」の実現に向かって、今年も一年頑張ってください。今後とも何卒ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



新年のご挨拶

病院長 南 健一郎

新年明けましておめでとうございます。日頃より、「ありまこうげんホスピタル」に御厚情を賜り、心より御礼申し上げます。今年6月で院長に就任して2年を迎えますが、様々な出来事があったという間に過ぎていきました。A-wing棟の新築、

外来N棟の改装、そして旧A棟が取り壊され、広々とした駐車場に整備されるなど、病院の外観は大きく様変わりしました。工事期間中、ご迷惑をおかけいたしましたこと、改めてお詫び申し上げます。見た目は新しく綺麗になり、賛辞のお言葉もいただいておりますが、病院内の体制はまだ未熟です。そのため、今後は内部の人材育成に力を注いでまいります。

今春以降、新任医師が複数名着任する予定です。今後も、病院の医療体制をさらに充実させ、未来の新しい形へと変貌させつつ、基本理念である「利用者さまと共に歩み、仲間と共に解決し、地域と共に生きる」を実践し、皆さまのご期待に応える病院へと二歩ずつ歩みを進めてまいります。皆さまからの御指導、御教鞭が何よりの助けになりますので、本年もよろしくお願申し上げます。



2025.1

冬号

社会医療法人 寿栄会
ありまこうげん
ホスピタル

ARTIMARKOUGEEN

第10回学術交流会を開催しました

テーマ：～原点回帰 すべては患者さまのためにagain～

人材育成グループ 課長 竹本 芳康

このたび、記念すべき節目の「第10回学術交流会」を2024年12月1日(日)に開催いたしました。

午前の部「特別記念講演」では『これからの精神科看護～臨床現場への期待～』と題し、千葉理恵先生(京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 先端中核看護科学講座 精神看護学分野 教授)にご講演を賜りました。



午後の部として開催された学術発表では、今後の医療・介護・福祉のあり方に関する様々な研究内容について、10名の職員が発表。中井幸子さん(診療支援部薬剤科/薬剤師)の『クロザピン投与開始後に救急搬送となった症例の報告と安全体制の検討～治療抵抗性統合失調症治療薬の導入による、安定した精神科救急医療の継続に向けて～』が最優秀賞に、そして石田操さん(介護老人保健施設「青い空の郷」リハビリテーション部/言語聴覚士)の『A氏のQOLと他の利用者さまの安全を守る～試行錯誤の環境調整～』が審査員特別賞に輝きました。さらに理事長特別賞として、齊藤華江さん(訪問看護ステーションありまこうげん北神/看護師)、富田みのりさん(リハビリテーション部/作業療法士)、そして森本有哉さん(老健療養部1F/介護福祉士)が選ばれ、研究で得られた知見を業務に反映させ、未来の医療・介護ケアの在り方を大いに示唆する功績として称えられました。



職員の専門的知識の向上、情報共有、そして研鑽の場として大変有意義な一日となりました。

夕暮れケアについて

看護部
副部長 石田 祐樹



『夕暮れケア』とは、「夕暮れ時になると不安が強くなり落ち着かなくなる状態(夕暮れ症候群)」を少しでも軽減するために、患者さまとスタッフが一緒に過ごすことです。この取り組みは「認知症患者さまへのケアをより安全で安心なものにしたい」という想いを発端とし、多職種で立ち上げたプロジェクトです。院内モデル病棟としてAW3病棟を選定し、今年6月から開始しました。

平日16時から19時の時間帯に2名ペアで多職種の職員が病棟に入り、患者さまとお話しをしたり、散歩をしたりしました。活動後は夕暮れ日誌に「その日の気づき」「行ったこと」「感想」を記載し、スタッフ間の情報共有にも努めました。

患者さまからは「色んなスタッフさんとお話しができて楽しかった」「また来てほしい」などの嬉しいお声をいただきました。また、協力してくださった他の職種のスタッフからは「患者さまの笑顔や感謝の言葉が嬉しかった」「普段関わることの少ない、夕方の時間の患者さまの様子を知ることができた」などの感想が寄せられました。患者さまに笑顔が増え、夕暮れ時を楽しく過ごしていただけるようになり、病棟看護スタッフ一同、協力してくださった他の職種の皆さまに感謝しております。

「夕暮れケア」を通して職種を問わず患者さまと深く関わったことは、ありまこうげんホスピタルが目指す『患者さま中心の医療提供の形』の第一歩になったように感じました。病棟内でこれまで築き上げてきたケアの土台に、更に新しいアプローチを加えていくことで、ケアの在り方、可能性をより豊かなものにしていくとともに、多職種でシナジー効果を発揮しながら連携を高めていけたらと考えております。

ホスピタルアートの取り組み

栄養科 中野 渚



当院では、院内におられる全ての方に心地よい時間を過ごしていただけるよう「ホスピタルアート」を導入しております。アート作品を通じて、観る方の心を穏やかに豊かにすることを目的とし、外来N棟、A-wing棟、A棟をはじめ随所に絵画を展示しております。

新たに展示いたしました「春夏秋冬」をテーマにしたコレクションは、神戸市北区在住の中野正人先生より寄贈いただいたものです。季節の移ろいを感じながら地域の方と共に歩いていこうという想いをホスピタルアートで表現いたしました。また、作業療法の一環としてアートキュレーション体験を実施し、デイケア利用者さまに選んでいただいた絵画作品を院内に展示する取り組みも行っております。

これらの活動が、当院を訪れた方々、入院患者さま、そして職員の心の癒しとなり、より良いケアに繋がるよう願っております。



インフルエンザ感染対策のススメ

医療安全管理室
室長 松本 幸恵

インフルエンザの感染を拡げないためには、一人ひとりが「かからない」「うつさない」対策を実践することが必要です。

マスク、咳エチケット、手洗い、消毒が感染対策として有効です。また、人ごみを避け、部屋の湿度をコントロールし、生活リズムを規則正しく整えることで、感染しにくい体づくりをしていきましょう。

感染が疑われるときは、安易に風邪と判断せず早めに医療機関を受診し、治療を受けましょう。インフルエンザの治療薬は、発症後48時間以内の服用が効果的です。療養中は、部屋の気温を18~20℃、湿度を50~60%程度に保ち、水分を十分に補給しましょう。

豆知識



インフルエンザ対策に有効な飲み物として、紅茶が挙げられます。「テアフラビン」という成分が、インフルエンザウイルス表面のスパイクを無力化すると言われています。通常の紅茶の1/10の濃さでも効果はあり、即効性もあると言われていますので、出がらしの紅茶を再利用して、帰宅後にうがいをしてみてもいいかもしれません。



「華道教室」を開催しました

地域交流センター センター長 岩井 清司

ふれあいの里『おくっちょ』にて「日本の伝統文化に触れる教室」の第5弾「華道教室」が11月15日に開催されました。

今回は長尾町内外から女性10名が参集し、毎年参加してくださっている方も多く、和気あいあいとした雰囲気の中、先生の作品をお手本にしながら皆さん



熱心に制作に取り組んでおられる様子でした。先生も受講生の間を巡回しながら丁寧に指導くださり、約1時間をかけて、緑を基調とした落ち着いた生け花が見事に完成。自宅で生け直せるよう、作品完成後は多くの方がスマホで撮影していました。

温暖な晩秋の楽しい一日となりました。



スイートポテト

【材料】

- さつまいも ……250g(中1本)
- バター ……15g
- 牛乳 ……50cc
- 砂糖 ……10g
- 黄身 ……1個分



さつまいも



秋から冬にかけて旬を迎えるさつまいも。ほくほくとした食感で、様々な料理に使用されます。豊富なエネルギー、ビタミンB6、カリウムなどを含んでいるほか、食物繊維の宝庫としても有名です。特に皮付近の栄養価が高く、焼きいもなどは皮ごと食べる方が栄養を摂れると言われています。今回スイートポテトを紹介しましたが、いろいろな食べ方を探すのもいいかもしれません。

管理栄養士の

おすすめ簡単レシピ

作り方

- ①さつまいもを柔らかくなるまで蒸し、温かいうちに皮をむく。
- ②①をつぶし、バター、牛乳、砂糖を混ぜ、よく練り込む。
- ③②を4~6等分し、アルミカップに入れる。
- ④③の上表面に黄身を塗り、約180℃に温めたオーブンで15分程度焼く(オーブントースターの場合、5分程度でOK)。

患者さまの権利

当院職員は、患者さまには以下の権利があることを十分に認識し、これらの権利を最大限に尊重して、日常の診療活動を行います。

1. 人格を尊重される権利
2. 良質で安全な医療を平等に受ける権利
3. 情報を知る権利
4. 自己決定の権利
5. 個人情報の秘密が守られる権利
6. 入院患者さまの通信・面会を自由に行える権利
7. 入院患者さまの退院請求を行う権利及び処遇の改善を求める権利

外来担当医表

診療時間：9時30分～12時30分（受付時間：9時00分～12時00分）

	月	火	水	木	金	土
精神科	大内 高橋史	福田 西野	高橋 山下	小川 金	清川 芦原	寺西 松井
歯科	—	山田	—	山田 酒谷	—	—
内科	南	—	南	—	—	—

※医師の都合により、変更となる場合がございますので、予めご了承下さい。

※歯科診療は、入院または通院されている患者さまを対象とさせていただきます。

精神科デイケア

『桜の咲く丘』

お知らせコーナー

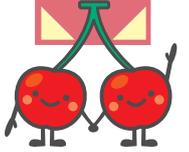
家族教室『さくらんぼ会』

10月26日（土）に、今年度2度目となる『家族教室』さくらんぼ会』を開催しました。

この会はデイケアを利用していらっしゃる方のご家族をお招きし、「ご家族同士で悩みや現状を共有して支え合える場を提供する」「今後に役立つ正しい知識や情報を得られる」「ご家族が元気で健康に過ごせるようになる」という目的を持って運営しております。

今回の内容は、当院薬剤師による『薬物療法についてのお話』と毎回恒例の『美味しい茶話会』の2本

立てでした。参加いただいた感想として「薬を飲み続けることに不安があつたが、副作用のことは心配しなくてもいいと説明を受けて少し安心できた」「初めて参加したが、色々なご家族の話聞いて、自分と同じような悩み事を持たれていることを知り、参考になりました！スタッフ一同も、ご家族と協力して利用者さまを支えていくためのヒントを得られる場になつたと実感しています。



編集後記

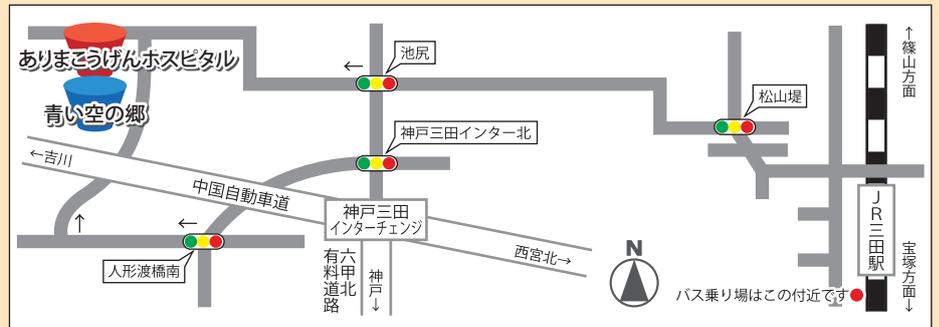
謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は各種研修・講演会等が実施されたほか、「ホスピタルアート」の取り組みが積極的に行われました。本年も医療・介護ケアの質向上のため様々な取り組みを進めてまいりますので、当院を何卒よろしく願いたします。



紙面内容

- 1面・新年のご挨拶
- 2面 第10回学術交流会を開催しました
夕暮れケアについて
ホスピタルアートの取り組み
- 3面 インフルエンザ
感染対策のススメ
地域活動報告
おすすめレシピ
- 4面 デイケアからのお知らせ
外来担当医表
編集後記



社会医療法人 寿栄会

ありまこうげんホスピタル

よりぞう。

〒651-1512 神戸市北区長尾町上津 4663-3

TEL:078-986-1115 / FAX:078-986-1850

http://www.arimakougen.or.jp

●お車の場合

- ★六甲北有料道路、又は中国自動車道からお越しの場合は…
- ・信号「神戸三田インター北」を北（直進）→0.6km→信号「池尻」を西（左折）1.8kmです。
- ・信号「神戸三田インター北」を西（左折）→0.6km→信号「人形渡橋南」を西（右折）→1.3kmを（右折）0.5kmです。

●電車の場合

JR・神戸電鉄をご利用の方は「三田駅」下車、無料送迎バスをご利用下さい。



日本医療機能評価
機構認定病院